

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-01-08-04
事務事業名	後期高齢者医療広域連合負担金		
	根拠法令・要綱等	岡山県後期高齢者医療広域連合条例	
事業開始年度	平成18年度から		
総合計画	大項目 基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	問合せ先
	中項目 基本施策	やさしさあふれるまちづくり	担当課(室)
	小項目 施策	老人保健(医療費給付)	保健課
		職・氏名	保険医療係長 河井 健治
		電話	64-1819

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	後期高齢者医療制度被保険者
目的(何のために)	後期高齢者医療制度の適切な運営に資する。
行政活動(どのような方法で)	後期高齢者医療広域連合の事務費を負担する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	後期高齢者医療制度が安定した制度となるように適正に運営できるようにする。

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	対象者	人	-	5,542	6,036	
	直接事業費	千円	-	1,611	10,025	
	人件費	千円	-	-	374	
	事業費計	千円	-	1,611	10,399	
	国県支出金	千円	-	-	-	
	受益者負担	千円	-	-	-	
	市一般財源	千円	-	1,611	10,399	
	必要人員	人	-	0.00	0.05	
	結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績
被保険者数		説明	人	-	5,542	6,036
結果指標量		対前年比	%	-	皆増	108.9%
活動コスト		説明	円	-	1,611,000	10,399,000
単位当たりコスト		説明	円	-	291	1,723

事業の成果			
成果指標名	一人当たり費用額	式又は説明	年間費用額 / 対象者数
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	-	291	1,723
対前年比	-	皆増	592.10%
到達目標値	1,700	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	B
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	後期高齢者医療制度を円滑に運営するために設置された広域連合への負担金であることから、制度の安定運営のために妥当である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
行政活動	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識	今後の広域連合の体制については継続される見込みであるが、国が混乱していることから先行きが不明瞭であり、コスト面でも不安がある。
	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	課題認識	有効性評価<A-E>
	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい	課題認識	有効性評価<A-E>
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	有効性評価<A-E>
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	課題認識	有効性評価<A-E>
	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善を求めている		
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
職	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	課題認識	有効性評価<A-E>
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	課題認識	有効性評価<A-E>
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	有効性評価<A-E>
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	課題認識	有効性評価<A-E>
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
	<input type="checkbox"/> 事業の実施等から市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	後期高齢者医療広域連合に対して負担金の支払を行った。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	6,000人	結果指標量
	成果指標量		1,700円

総合評価		評価区分<A-E>	B
後期高齢者医療制度が混乱していることから、広域連合と連携を強めて共同で円滑導入に努める必要がある。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果